Arcserve Backup 18.0 インストール ガイド

入の準備	1
動作要件の確認	1
バックアップ先の確認	1
導入モジュールの準備	1
システム アカウントの準備	2
ARCSERVE BACKUP 本体製品の前提モジュールと OS 再起動要求	2
RCSERVE BACKUP のインストール	3
デフォルトのインストールパス	3
ARCSERVE BACKUP 本体製品のインストール手順	3
最新のパッチや各種モジュールの確認	10
ライセンス登録	10
上書きインストールの追加作業	11
バージョンの確認	11
RCSERVE BACKUP の削除	12
ARCSERVE BACKUP のアンインストール	12
SQL Server のアンインストール	12
そのほか前提モジュールのアンインストール	13
	入の準備 動作要件の確認 バックアップ先の確認 導入モジュールの準備 システム アカウントの準備 ARCSERVE BACKUP 本体製品の前提モジュールと OS 再起動要求 CSERVE BACKUP のインストール デフォルトのインストールパス ARCSERVE BACKUP 本体製品のインストール デフォルトのインストールパス ARCSERVE BACKUP 本体製品のインストール手順 最新のパッチや各種モジュールの確認 ライセンス登録 上書きインストールの追加作業 バージョンの確認 CSERVE BACKUP の削除 ARCSERVE BACKUP のアンインストール SOL SERVER のアンインストール そのほか前提モジュールのアンインストール

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。

本ガイドは情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証(商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます (ただし、これに限定されません))も伴わずに、このドキュメントを「現状有姿で」提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、 事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など(ただし、これに限定されません)、このドキュメントに関連する直接損害または間 接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。

© 2019 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

1 導入の準備

1.1 動作要件の確認

下記の動作要件を参照し、Arcserve Backup 18.0 のソフトウェアが動作するシステム要件やハードウェ ア要件を確認します。

Arcserve Backup 18.0 動作要件:

https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-Backup-18-Software-Compatibility-Matrix?language=ja

1.2 バックアップ先の確認

Arcserve Backup は、ハードディスク、NAS、クラウド ストレージ、テープ装置、VTL などをバックアップ先として選択できます。選択するバックアップ先によって事前に確認する項目があります。

■ ハードディスク / NAS にバックアップする場合

Arcserve Backup から完全なるフルコントロール権限でアクセスできるファイルシステムであり、Windows OS からアクセスできるローカルドライブや FC ディスク、iSCSI ディスク、CIFS 共有 (SMB 共有)を原則サポートします。なお、Arcserve Backup の重複排除機能を利用する場合、FAT/FAT32/ReFS のファイルシステムは未サポートになります。

■ クラウド ストレージにバックアップする場合

サポート対象のストレージは、前述 「1.1 Arcserve Backup 18.0 動作要件」内にある"クラウド サービス (連携用クラウド ストレージ)"記載のクラウド ストレージになります。バックアップ方法は、D2D2T (ディスクにバックアップ後にクラウド ストレージへコピー) 方式と、D2C (直接クラウド ストレージにバックアップ データを保管) 方式の2種類をサポートします。

■ テープ装置 / VTL (AWS Storage Gateway 含む) にバックアップする場合

Arcserve Backup 本体製品導入サーバ (バックアップ サーバ) から正常に認識できるテープ装置 や VTL で、Arcserve Backup の認定デバイスリスト掲載の装置をサポートします。

Arcserve Backup 18.0 認定デバイスリスト: https://support.arcserve.com/s/article/18-Arcserve-Backup-Certified-Device-List?language=ja ※ ストレージのファームウェア: リスト掲載および上位バージョンも原則サポート

1.3 導入モジュールの準備

Arcserve Backup 18.0 の製品メディアがお手元にない場合、下記サイトからダウンロードします。 https://support.arcserve.com/s/topic/0TO1J000000I3psWAC/arcserve-backup-downloads



1.4 システム アカウントの準備

本体製品導入時に、下記グループや権限を所有しているアカウントを指定します。このアカウントは Arcserve Backup の各種モジュールやサービス導入のほか、HDD やネットワークなどのリソース アクセ スにも用います。

- Administrators グループ
 指定したアカウントでは、Backup Operators グループ権限を自動的に追加します。
- Domain Admins (ドメイン環境の場合)

ドメイン名は 15 バイト (半角 15 文字) 以内で指定してください。

- 必要な権限
 - ▶ 「オペレーティング システムの一部として機能」
 - ▶ 「ローカル ログオン」
 - 「サービスとしてログオン」

1.5 Arcserve Backup 本体製品の前提モジュールと OS 再起動要求

Arcserve Backup 18.0 の本体製品を Windows Server 2012 以前の OS バージョンに導入する場合、 前提モジュールとして [.Net Framework 4.5.1] を導入します。

[.Net Framework 4.5.1] の導入により、Windows Server 2012 および Windows Server2008 x64 環 境では、Arcserve Backup の導入中、もしくは導入後に OS の再起動要求が入ります。 その他の OS 環 境の場合でも、導入されているアプリケーションによって再起動要求が入る場合があるため、Windows Server 2012 R2 よりも古い環境では、再起動時間を考慮に入れてください。

Arcserve Backup 導入時の OS 再起動を回避するには、事前に [.Net Framework 4.5.1] を導入し、リ ブート処理を行っておきます。前提条件で必要となる [.Net Framework 4.5.1] は下記の日本マイクロソ フト社の Web ページより ダウンロードできます。(言語パックも併せて導入してください)

https://support.microsoft.com/ja-jp/kb/2858728

なお、Windows Server 2012 R2 以降の OS バージョンの場合には、[.Net Framework 4.5.1] 、もし くはより新しいバージョンがデフォルトで導入されているため、.Net Framework の導入をスキップしま す。



2 Arcserve Backup のインストール

このガイドでは、2019 年 4 月 1 日現在の Arcserve Backup 18.0 製品リリース版を、Windows Server 2019 環境に導入する手順を記載します。

2.1 デフォルトのインストールパス

- 64 bit 環境に導入する場合
 C:¥Program Files (x86)¥CA¥ARCserve Backup¥
 (Arcserve データベース: C:¥Program Files (x86)¥Microsoft SQL Server¥)
- 32 bit 環境に導入する場合
 C:¥Program Files¥CA¥ARCserve Backup¥
 (Arcserve データベース: C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥)

2.2 Arcserve Backup 本体製品のインストール手順

下記 (ア) から (ナ) の手順に従い、Arcserve Backup 本体製品を導入します。

- (ア) 導入先の OS へのログイン
 前述 [1.4 システム アカウントの準備] で用意したアカウント、もしくは Administrator や
 Administrators グループのアカウントでログオンします。
- (イ) インストーラの起動

Arcserve Backup 18.0 のインストール メディアをお持ちの場合は、メディアをドライブに挿入す ると自動的にインストーラが起動します。 製品をダウンロードしている場合や、インストーラが自動起動しない場合は、ルートフォルダにあ

る "setup.exe" を実行します。

(ウ) [インストール Arcserve Backup for Windows サーバおよびエージェントのインストール] を クリックします。





- (エ) 前提条件コンポーネント
 [インストール]をクリックし、前提モジュール を導入します。
 (すでに前提条件コンポーネントが導入済みの場 合、この画面はスキップします)
- (オ) 言語の指定
 "日本語"が選択されている状態で、[OK] を
 クリックします。
- (カ) 使用許諾契約
 使用許諾契約を最後までよくお読みください。
 同意できる場合には、[同意する]を選択し、
 [次へ]をクリックします。

言語の指定	×
このインストールに使用する言語を選択してくだ	ะ เา.
日本語	-
() びK キャンセル	

 使用許諾契約 方式 環境設定 セットアップ サマリ 	重要 よらお高ください。 本製品にコットパーナイ体のリフトウェア製品が含まれている場合があり、それらの製品をインスト 意用られたお問題いたとなる部があります。通知意用を伴は、開たらエンドユーナを用ける読み	ールするに先立ちサードパーティ製品の道 5巻の後に記載されています。
	Copyright (yyy) (name of copyright owner) Licensed under the Apache License, Vension 20 (the "License"), you may not use the the License, You may obtain a copy of the License at http://www.apache.org/icenses/LCINSE-2.0 Lives: sequences by applicable to a copyred to in writing, software distributed under "AS IT BASS, WITH-OLT WARGANTES CHE CONDITIONS OF ANY CHD, either express the specific language governing permissions and limitations under the License.	s file except in compliance with r the License is distributed on an or implied. See the License for
	④ 同者する① ○ 同者しない③ 見用計道目的音の本语をすべた記述みの上、[同者する] を溢択してください。	<u> 22-</u> 81

(キ) 方式
 このガイドでは、ローカル サーバへの新規イン
 ストールを行います。
 [ローカル]を選択し、[次へ]をクリックします。
 す。





(ク) インストールの種類
 種類から [カスタム] を選択した後、
 [Arcserve スタンドアロン サーバ] を選択し、
 [次へ] をクリックします。

1. IT M.	
	(ソストートARLます。Arcsene スタンドプロン ラーバを思考すると、 さます。
	 G (2526) C. Arcsene マネージャ(12)/-ル) G Arcsene マネージャ(12)/-ル) G Arcsene スタンドプロン サーバ C. Arcsene スタンドプロン サーバ C. 4rcsene スタンドプロン サーバ C. もの治 C. もの治 C. もの治

(ケ) コンポーネント

前ステップのインストールの種類に応じて、コン ポーネントがデフォルトで選択されます。(※1) 追加で導入するコンポーネントがある場合は、こ こで選択します。

導入パスを変更する場合は、各コンポーネントを 選択し、パスを変更します。

(使用計道数3/)		arcs	erve	e" BACKUP
方式	ラ ゲーケット ホスト コンボーネント :	r: [TOKYO-BKSV01]	詳細(E);	
 ● (#転換定) ● (224-400株年) 		Entropy (227-h) (277-h) (277-h)	Arcserve I F.	lackup のペース発品をインストールしま
	この製品をインストー)	しするには、ローカルのハード ディスク ドライブに 1338 MB 必う	長です。	ディスク)告報(①)
品値館 ニスノートの表示	インストール パス回:	C:¥Program Files (x86)¥CA¥ARCserve Backup¥		フォルダの変更(上)

- (※1) [Arcserve スタンドアロン サーバ] を選択した場合、下記コンポーネントを選択します。
 - マネージャ (コンソール)
 - > ベース
 - Client Agent for Windows for x64-Based Systems (※2)
 - > Agent Deployment セットアップ ファイル (※3)
 - ▶ 診断ユーティリティ (※4)
 - Arcserve バックアップ パッチ マネージャー (※5)
- (※2)本体製品導入サーバ (バックアップ サーバ) 自体のローカル バックアップに利用するコンポ ーネントです。ローカル バックアップで利用する Client Agent のライセンスは、本体製品 に含まれます。
- (※3) Arcserve Backup インストール モジュールの一部を本体製品導入サーバにコピーし、イン ストーラを使用せずに、コピーしたモジュールからリモート マシンにエージェント製品を配 布するツールです。本コンポーネントは標準機能になりますが、導入するには 約 1.3 GB の ハードディスク容量が追加で必要になります。導入しない場合は、選択を解除します。
- (※4) トラブル シュートのため、Arcserve Backup の各種ログと、システム ログを収集する標準



機能のツールです。詳細は管理者ガイド「第9章:データベースの管理とレポート」をご覧 ください。

- (※5) Arcserve Backup 製品の導入パッチを管理する標準機能のツールです。詳細は後述 [2.3 最 新のパッチや各種モジュールの確認] をご覧ください。
- (コ) アカウント

Windows 管理者アカウントに、インストーラを 実行しているアカウント情報が表示されます。対 象アカウントのパスワードを入力します。(前述 [1.4 システム アカウントの準備] で用意したア カウントへの変更も可能です)

Arcserve Backup ドメイン アカウントでは、 "caroot" アカウントのパスワードを指定しま す。このアカウントは Arcserve Backup の各種 操作に利用します。

Arcserve Backup セットアッ アカウント セットアップする Arcserve Bac	ァブ kup ドメインを指定します。	arcserve MKUP
 ◆ 使用中目表示的 ◆ 方式 + 爆発設定 ◆ インストールの種類 ◆ コンボーネント + アカウント 	■ ターゲット ホスト(TOKYO-BKSWI) - Windows 管理者アカウントモ目定します ① Microsoft Windows ドメイン(2): Microsoft Windows ユーザキ(2): (2フードPE:	TORYO - MSSV01
ゲールペースの設定 メッセーラ セットックプ サマリ インストールの連督状況 インストール ルボート	- Arcseve Backup FX/ソプカフソトを指定します。 ④ Arcseve Backup FX/ソ(b): Accseve Backup FX/ソ(b): Accseve Backup Fン/f(: ユーザ名: パスワード回答: パスワード回答: パスワード回答: パスワード回答: ロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	TORYO-BISSIO1 TORYO-BISSIO1 (Internet recommendation) recommendation
<u>製工価値</u> リニーンニトの表示	 ハムノービアサキタのD ア Arcere Backup Web テービスのインストール Web テービス設定 ポート(2) 	800 <実2(<u>8</u>) 次へ(<u>8</u>) をつか)

- ※ [Arcserve Backup Web サービス] は、イメージ バックアップ製品 Arcserve Unified Data Protection の "テープ コピー" タスクから、Arcserve Backup への連携機能を使うためのサー ビスです。連携機能を利用しない場合は、チェックを外すことができます。(後から必要になっ たら、コマンドで追加できます)
- (サ) データベースの設定

データベースの種類で [Arcserve デフォルト デ ータベース] が選択された状態で [次へ] をクリ ックします。

導入パスを変更する場合は、各インストール パ スやデータ ファイル パスを変更します。

Arcserve Backup セットアッ データベースの設定 データベースには、Arcserve Bac その操作に聞きる重要な情報が	ブ 操業をはま。	arcserve [®] BACKUP
 (伊用料花坊)) 方式 環境設定 インストールの推測 アンパー・ハー・ アカウント データベースの設定 	ヨターゲットホスト:(TOKYO-BKSWot) データベースの優勝を選択してください。	Acume 7283-1-7-97-2
メッセージ セットアップ サマリ インストールの進移状況 インストール レポート	Acceive デフォルト データベースの G デフォルト インストール パス: C カスクム パスト 建築する Acceive デフォルト データベースの方 G デフォルト インストール・パス: C カスクム パスを運搬する SOL 音話振会 現代教室	DAT-on / COMPENSION Of Propers Files (400Microsoft SOL Server
	 ○ デフォルトの照合順序 (※ 東アジア登録の総合)順序 	[.leparete 💌 🔍
製品価値 リリースノートの表示	カタログ ファイルのインストール パス:	[CYProgram Files (180)(FCANARCierve Backup/FCATALOS.DB# < 戻り(回) 家へ(四) キャンセル

- ※ デフォルト データベースは、Microsoft SQL Server 2014 SP2 Express Edition を導入します。
- ※ [カタログ ファイル] はバックアップしたフォルダ / ファイル情報の格納に利用します。
- ※ Arcserve データベースに製品版の Microsoft SQL Server を利用する場合は、データベースの 種類から [Microsoft SQL Server データベース] を選択します。この場合、Arcserve Backup のインストール前にバックアップ サーバ、もしくはネットワーク上のサーバに SQL Server を



インストールし、SQL インスタンスの作成を行っておきます。

(シ) Arcserve Patch Manager 環境設定

前述 [(ケ) コンポーネント] 画面 で "Arcserve バックアップ パッチ マネージャー"を選択して いると、表示される設定画面です。この機能は パッチのダウンロードや、適用パッチの管理 (適 用パッチー覧やパッチ削除など) ができます。

導入中のサーバからパッチのダウンロードを行 なう場合、デフォルトの [Arcserve サーバ] の まま [次へ] をクリックします。インターネット 接続ができない場合には、[ステージング サーバ] を選択し、他のサーバ名を指定します。

ローカルマシンのサーバの種類を指	arcserve [®] BACKUP
 使用には認知) 方式 クズ ● (学校規定) ● (学校規定) ● (アム)トルの検索 ● アメース・スト・ ● アメース・ <	G (25727) Arturne Backup 256-82/HG, D-26 52/C(1/2)-5881 (U>0 # # Arturne 5-7(3) C 25-2572 9-7(4) C 25-25
県品情報 リースノートの表示	
	< 戻る(的) 次へ(M) > スキップ(S

※ パッチのダウンロードを行わない場合は、デフォルト設定のまま [次へ] をクリックします。

(ス) メッセージ

警告メッセージを確認し、[次へ] をクリックし ます。

メッセーシ	arcserve MKUP	
 ● (使用+は振動) ● 万式 ● 「日本設定" ● 「日本設定" ● 「コンボーネント ● アング・スの設定 ● アング・スの設定 ● アング・スの設定 ● オンラーンの設定 ● オンラーンの設定 ● オンラーンの設定 ● ロンク・メント ● ロンク・シーン ● ロンク	 ● イケト あスト (DORO 450/6) インスールを思知するに、以ての音を力とうた思示へとない。 ・ ひょうマップは以下のコズルーホントをインストールします: ・ Monosit Gol, Sarver 2014 Express Edition ・ Java Buntime Environment (JRE) ・ Java Buntime Environment (JRE) ・ Java Buntime Environment (JRE) ・ Anceareve DBI スプレ て Sol, Sarver 2014 Express Deckap では TLS 12 をデフォートや でガボートして Nrg 7, マップリードの場合にスペアには、使用などのは、 Anceareve DBI スプレ TS Gol, Benerer Monosol Ty メート 1984 (株々名) ・ Anceareve DBI スプレ TS Gol, Benerer Monosol Ty メート 1984 (株々名) ・ Nor Acceareve DBI スプレ TS Gol, Benerer Monosol Ty メート 1984 (株々名) ・ Nor Acceareve DBI スプレ TS Gol, Benerer Monosol Ty メート 1984 (株々名) ・ Nor Acceareve DBI スプレ TS Gol, Benerer Monosol Ty メート 1984 (株々名) ・ Nor Acceareve DBI スプレ TS Gol, Benerer Monosol Ty メート 1984 (株々名) ・ Nor Acceareve DBI スプレ TS Gol, Benerer Monosol Ty メート 1984 (株々名) ・ Nor Acceareve DBI スプレ TS Gol, Benerer Monosol Ty スペート 1984 (株々名) ・ Nor Acceareve DBI スプレ TS Gol, Benerer Monosol Ty スペート 1984 (株々名) ・ Nor Acceareve DBI スプレ TS Gol, Benerer Monosol Ty スート 1984 (株々名) ・ Nor Acceareve DBI スプレ TS Gol, Benerer Monosol Ty スペート 1984 (株々名) ・ Nor Acceareve DBI スプレ TS Gol, Benerer Monosol Ty スペート 1984 (株々名) ・ Nor Acceareve DBI スプレ TS Gol, Benerer Monosol Ty スペート 1984 (株々名) ・ Nor Acceareve DBI スペート 1005 (St. Benerer Monosol Ty スペート 1005 (St. Benerer Monosol Ty スペート 1984 (株々名) 	
製品体種 リリース.ノートの表示	-	ELCE

(セ) セットアップ サマリ

インストールするコンポーネントと、インスト ール パスを確認し、[インストール] をクリック します。

	arcserve MXP
 ● (内田)44300 ⇒ 万式 ■ 日本数で ■ イスストーの単数 ■ イスストーの単数 ■ ブーラン・人名志 ● ブーラーへの数定 ● ブーターへの数定 ● ブーターの数定 ● ブーターの数定<th>P-97+RAI:[CONC-84580] - (24)-K&[1922/K-27+14]@EU.(CE2). The Concentration of the</th>	P-97+RAI:[CONC-84580] - (24)-K&[1922/K-27+14]@EU.(CE2). The Concentration of the
リリースノートの表示	



(ソ) インストールの進捗状況

Arcserve Backup を利用するために必要なモジ ュールのインストールに続き、Arcserve Backup のコンポーネントのインストールが 行われます。



(タ) ファイアウォール登録

Arcserve Backup の通信を行うために、ファイ アウォールの例外に登録します。

[次へ] をクリックします。

+ ファイアウォール登録	Arcserve では、Windows	5ファイアウォールの例外として以下のサービ	スノブログラムを登録する必要があります。	
	#-17828/070/5/	7=-77	167	
	CASDBEngine CASDIscovery CASDIscovery CASMossageEngine CASMgmtSvc CASSportmapper CASSvcControlSvr CASTapeEngine CASTapeEngine	はファイアウォールの例外に追加されま (おフィイアウォールの例外に急加されま (おフィイアウォールの例外に追加されま (おフィイアウォールの例外に通加されま (おフィイアウォールの例外に通加されま (おフィイアウォールの例外に通加されま (おフィイアウォールの例外に通加されま (おフィイアウォールの例外に通加されま (おフィイアウォールの例外に通加されま (おフィイアウォールの例外に通加されま	CliProgram Files (168)/CAVARCserve CMProgram Files (168)/CAVARCserve	
	 Windows ファイアウォ キットワーク ロケーショ: デドメイン: ドメイン: ドメイン: 	ールの例外として Arcserve サービス/ブログ 2の種類を選択してください: 関連付けられている職場でのネットワーク((パート)、原知で信頼できる人々ッドバイス	54を登録することを許可する(<u>A</u>) 23 が弾研れたのでまたは業務のネットワーク(H)	
	C (10-0 C - 0			
	 アパンジッジ: 呈着や C Windows ファイアウオ 	コーレー ショッフィンシンス代の場所にあるキ ールの例外として Arcserve サービス/プログ	フィッテーハビン ラムを登録することをスキップする(<u>S</u>)	
	▲ ご注意:この手順	をスキップすると、Arcserve Backup の通f	言が正常に行われない場合があります。	
<u>8421688</u>				

(チ) インストール レポート

インストール結果を確認し、[次へ] をクリック します。

 ● 代理時は読品) ◆ 万式 ● 印度地球空 ● 印度地球空 ● 日本地球空 ● アクワント ● アクソースの設定 ● オンストールの建築 ● オンストールの建築 ● オンストールの構成 	
B19 (88)	



(ツ) インストール レポート

[完了] をクリックします。

前述の [(ケ) コンポーネント] 画面で "Agent Deployment セットアップ ファイル" のチェッ クを外している場合には、後述 [(ナ) セットアッ プ画面の終了] に進みます。

Arcsenve Backup セットアッ インストール レポート	arcserve BACKUP	
 ✓ 代用中は取用) ✓ 方式 ※ 市場地区 ※ 日本20-1-10種類 ※ 日本2-1-2-2-2-2 ※ アクジーネースの設定 ※ ヨージーネースの設定 ※ ヨージーネースの設定 ※ ヨージーネースの設定 ※ コージースの設定 ※ コージースのしての設定 ※ コージースの設定 ※ コージー		*
製品接触 リリースノートの表示		
	<u></u> (一元7.(2)) (二元7.(2)) ((二元7.(2))) ((二元7.(2))) ((二元7.(2))) ((二元7.(2))) ((二元7.(2))) ((二元7.(2))) ((二元7.(2))) ((二元7.(2))) ((二元7.(2))) (((二元7.(2)))) (((-1))) (17511(D

- (テ) Agent Deployment のインストール
 [続行] をクリックし、Agent Deployment を導入します。
 - ※ Agent Deployment セットアップ ファイル の導入には、約 1.3 GB のハードディスク容 量を消費します。導入を中断する場合には [キャンセル] をクリックします。
- course Backup Agent Deployment のインストール: インストール * クストーム * クストーム * クストーム A course Backup のインストームが変Tレるした. March Deployment サットフ*ィスプスグス*クレントームが完てしました。 Add Deployment サットフ*ィスプスグス*クレントームが完て、たままま いまのの、このスプスクレントルをきます。 . Course Deployment ビットフィフィズグスクレントルマル、 Add Deployment ビットフィフィングスクレントルマル、 Add Deployment ビットフィフィング、 Add Deployment ビットフィフィング、 . Add Deployment ビットフィフィング、 . Add Deployment ビットフィフィング、 . Add Deployment ビットフィフィントル (Add Card De Rackup / Rackup /

(ト) インストール

[完了] をクリックします。





(ナ) セットアップの終了

最後に [終了] をクリックします。

マニュアル サポート情報 メディアの参照 - インストール Arcserve Backup for Windows サーバおよびエージェントのインストール インストール手類 Windows 以外のブラット フォームの Arcserve Backup エージェント ・ インストール手類 Arcserve Backup UNIX/Linux Data Mover ・ ブート 可能メディアの作成 惨事復日用 ・ マニュアル Arcserve Backup 製品マニュアル ・ サポート情報 弊社へのお問い合わせ ・ 研修サービス Arcserve Backup の研修	arcserve [®] MAKUP			
サービスに関する代情報	マニュアル サポート情報 メディアの参照	 インストール Arcserve Backup for Windows サーバあよびエージェントのインストール インストール手腹 Windows 以外のブラット フォームの Arcserve Backup エージェント インストール手腹 Arcserve Backup UNIXLinux Data Mover ブート可能メディアの作成 惨事/復日用 マニュアル Arcserve Backup 製品マニュアル サポート情報 弊社へのお問い合わせ 研修サービス Arcserve Backup の研修 サービスに関する情報 		

以上で Arcserve Backup 18.0 のインストール作業は終了になります。

なお、前提モジュールとは別に、インストールしたコンポーネントによって、OS のリブートが必要になる場合があります。

2.3 最新のパッチや各種モジュールの確認

確認方法には、Arcserve サポート サイトにアクセスする方法と、Arcserve Patch Management Tool を利用する方法があります。

■ サポート サイトで確認

インストール完了後、適用可能なサービスパックや修正モジュールがあるか確認します。確認方法 は下記 URL から Arcserve Backup アイコンにアクセスし、"ダウンロード情報一覧" にアクセス します。

https://support.arcserve.com/s/?language=ja

 Arcserve Patch Management Tool (APM) で確認 APM はご利用の Arcserve Backup に未適用のパッチがある場合、自動的にダウンロードし、パッ チの適用まで行うことができます。APM は導入コンポーネントとしてデフォルトで選択されてい ます。

APM の詳細は、下記ドキュメント ページから Arcserve Backup 18.0 製品ドキュメント の Japanese を選択し、「Arcserve Backup Patch Manager ユーザ ガイド」をご覧ください。 https://support.arcserve.com/s/topic/0TO1J000000I3q2WAC?language=ja

2.4 ライセンス登録

Arcserve Backup 本体製品を導入したサーバで、下記ライセンス モジュールを開きます。 "C:¥Program Files (x86)¥Arcserve¥SharedComponents¥CA_LIC¥CALicnse.exe"



[ライセンス キー] の入力項目に、ライセンスプロ グラム証書やパッケージ製品に記載されている製品 キーを指定し、[追加] ボタンをクリックします。 (パッケージ製品の場合には、必要な製品分だけキ ー追加を繰り返します)

キーの追加が完了したら、最後に必ず [OK] ボタン をクリックします。([キャンセル] で画面を閉じる と、追加したキーが反映されません)

ライセンス確認エントリ	
ーンボーネント 以下は、ライセンス取得液みのコンボー す、または新規コンボーネントのライセン イセンス キーを入力してください。	ネントです。ユーザ数を増や シスを取得するには、新しいラ
コンボーネント名	ライセンス数
ライセンス キー(L): ABCDE [12345 FGHIJ 6 」追加(A) のK(Q) キャンセル(Q)	7890 KLMNO

コンボーネント――			
Λ	以下は、ライセンス取得済みのコンボーネント す、または新規コンボーネントのライセンスを イセンス キーを入力してください。	です。ユーザ数を増や 取得するには、新しいラ	
コンポーネント名		ライセンス数	^
Arcserve Backu	⊳ 18.0 for Windows	3	
🚞 Arcserve Backu	> 18.0 Central Management Option	1	
Arcserve Backu	> 18.0 for Windows Disaster Recovery Option	3	
🚊 Arcserve Backu	⊳ 18.0 Client Agent for UNIX	2	
🚞 Arcserve Backu	⊳ 18.0 for Windows Storage Area Network (S	3	
Arcserve Backu	⊳ 18.0 for Windows Tape Library Option	3	
Arcserve Backu	> 18.0 for ₩indows SAN Secondary Server Bu	2	\mathbf{v}
ライセンス キー(し)			

- ※ ライセンス登録を行わない場合には、インストール後 30 日間のトライアルとしてご利用いただけ ます。(機能制限はありません)
- ※ ライセンスプログラム証書やパッケージ製品に製品キー (数字とアルファベットの組み合わせ) が 掲載されていない場合は、ライセンスデスク (0120-630-178) までお問い合わせください。

2.5 上書きインストールの追加作業

Arcserve Backup 18.0 はデフォルト データベースとして Microsoft SQL Server 2014 SP2 Express Edition をインストールします。Arcserve Backup r17、もしくは r17.5 (SP なし) から Arcserve Backup 18.0 に上書きでインストールを行なう場合は、インストール完了後に手動で SQL Server に SP2 を適用します。

2.6 バージョンの確認

インストール後、導入バージョンと Build を確認する には、Arcserve Backup マネージャのツール バーか ら、[ヘルプ] - [バージョン情報] を選択します。





3 Arcserve Backup の削除

Arcserve Backup 18.0 のオプションやエージェントなどの一部のモジュールや、全てのモジュールをアン インストールするには、OS のコントロール パネルから実施します。

3.1 Arcserve Backup のアンインストール

コントロール パネルの [プログラムのアンインストール] を開き、"Arcserve Backup" 上でダブルクリック します。

ゴログラムと複称						- 0	×
← → - ↑ 🖬 > 3>H0-IJ	パネル > プログラム > プログラムと登記				 0 707552880 	0940	p
3248-67497 8-6	プログラムのアンインストールまたは変更						
インストールされた更新プログラムモ 長示	プログラルモアソインストールするには、一覧からプログラルを選択	Rして (アンインストール)、(実更)、ま	はたは (体現) モクジックル	87.			
S Windows 印限超印度社会主任							
■ 姑代	83 ·					11.4	
	66	政行 元	1031-165	912	n-587		
	Accserve Backup	Arcserve (USA), LLC	2019/02/07		16.0.8209		
	Microsoft ODBC Driver 11 for SQL Server	Microsoft Corporation	2019/02/07	7.67 MB	12.2.5000.0		
	🔒 Microsoft SQL Server 2008 セットアップ サポート ファイル	Microsoft Corporation	2019/02/07	37.2 MB	10.1.5500.0		
	Microsoft SQL Server 2012 Native Olient	Microsoft Corporation	2019/02/07	10.3 MB	11.2.5058.0		
	Microsoft SQL Server 2014	Microsoft Corporation	2019/02/07				
	Microsoft SQL Server 2014 Transact-SQL ScriptDom	Microsoft Corporation	2019/02/07	6.18 MB	12.2.5000.0		
	Microsoft SQL Server 2014 セットアップ(日本語)	Microsoft Corporation	2019/02/07	55.8 MB	12.2.5000.0		
	Microsoft Visual C++ 2006 Redistributable - x64 9/0.3.	Microsoft Corporation	2019/02/07	13.2 MB	9.0.30729.6161		
	Microsoft Visual C++ 2006 Redistributable - x86 9:0.3.	Microsoft Corporation	2019/02/07	10.1 MB	9.0.30729.6161		
	Microsoft Visual C++ 2010 x64 Redistributable - 10.0	Microsoft Corporation	2019/02/07	13.8 MB	10.0.40219		
	Microsoft Visual C++ 2010 x86 Kedebribulate - 10.0	Microsoft Corporation	2079/02/07	11.1 MB	10.0.40219		
	COL Comme 1014 HI COL Comme Research	Microsoft Corporation	2010002/07	0.00 140	12.2.5000.0		
	The second second second second	Manage las	20100102/07	77 3 140	20.1.7.6543682		
	現在インフト」しまれているプログラム ましい	+/ % 100 MB					
	1 007075184221-ABDTUET						

削除する対象のコンポーネントを選択し、アンインス トールを実施します。

※ 削除するコンポーネントによって、OS のリブート 要求が入る場合があります。

Arcserve Backup アブリケー	ションの削除
コンボーネント	areeer to hum
+ 70-2-2-4	
392-9	以下の Arcserve Backup コンホーネントかご使用のコンピュータにインストールされていることが視出されました。前所対象のコンホーネントを 選択してください。
n use	
	▼ コンポーネント名
	Arcserve Backup
	Arcserve Backup Client Agent for Windows
	Arcserve Backup Diagnostic Utilities
	Arcserve Backup Patch Manager
	< 戻る(E) 次へ(N) > キャンセル

3.2 SQL Server のアンインストール

Arcserve データベースとして使用している、Microsoft SQL Server Express Edition も削除する場合 は、同じくコントロール パネルの [プログラムのアンインストール] から対象製品を選択し、削除してく ださい。

※ 他のアプリケーションでも SQL Server を利用している場合、削除しても影響がないか、対象のアプリケーション ベンダにお問い合わせください。

デフォルト データベース選択時に、SQL Server のインストーラによって導入されるのは、下記コンポ ーネントです。

■ Microsoft ODBC Driver for 11 for SQL Server

- Microsoft SQL Server 2008 セットアップ サポート ファイル
- Microsoft SQL Server 2012 Native Client
- Microsoft SQL Server 2014
- Microsoft SQL Server 2014 Transact-SQL ScriptDom
- Microsoft SQL Server 2014 セットアップ (日本語)
- Microsoft VSS Writer for SQL Server 2014
- SQL Server 2014 用 SQL Server Browser

3.3 そのほか前提モジュールのアンインストール

前提モジュールとして、いくつかのモジュールを導入しています。こちらも削除する場合は、同じくコントロールパネルの [プログラムのアンインストール] から対象製品を選択し、削除してください。

※ 同じサーバに他のアプリケーションも導入されている場合、削除しても影響がないか、対象のアプリケ ーション ベンダにお問い合わせください。

Arcserve Backup のインストーラ前提モジュールとして導入されるのは、下記コンポーネントです。 (32 ビット環境には、x64 系のコンポーネントは導入されません)

- Microsoft Visual C++ 2010 x64 Redistributable 10.0.40219
- Microsoft Visual C++ 2010 x86 Redistributable 10.0.40219

Windows Server 2012 以下の OS バージョンでは、下記 .Net Framework も導入されます。(アンイ ンストール後に OS 再起動が必要な場合もあります)

■ Microsoft .Net Framework 4.5.1

